

実務経験のある教員による科目の配置状況

第一看護学科

分野	教育内容	科目	単位	時間数	実務経験	事業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うのか)
専門分野	基礎看護学	看護学概論	1	30	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、看護学全体の基本的内容や看護学の本質について支援する。
		基本技術Ⅰ	1	30	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、基礎的な救急救命に関する知識、対象を把握する意義や感染予防技術等について支援する。
		基本技術Ⅱ	1	20	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、看護の基本技術となるコミュニケーション、記録・報告、さらに患者が安楽に過ごすための援助方法等について支援する。
		看護の展開技術Ⅰ	1	20	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、健康障害や治療・療養生活が患者に及ぼす影響と、患者の状況に合わせた看護について支援する。
		看護の展開技術Ⅱ	1	30	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、看護実践をするうえで基本となる臨床判断能力等について支援する。
		生活援助技術Ⅰ	1	30	○	【環境】【活動・休息】看護師である専任教員がその経験を活かし、患者にとって安全で快適な生活環境を整えるための援助方法の習得を支援する。
		生活援助技術Ⅱ	1	20	○	【食事】【排泄】看護師である専任教員がその経験を活かし、看護実践をするうえで基本となる療養上の援助の習得を支援する。
		生活援助技術Ⅲ	1	30	○	【清潔】看護師である専任教員がその経験を活かし、看護実践をするうえで基本となる療養上の援助の習得を支援する。
		生活援助技術Ⅳ	1	25	○	【様々な状態にある人の援助】看護師である専任教員がその経験を活かし、患者にとって安全で安楽に過ごすための援助方法の習得を支援する。
		診療に伴う援助技術Ⅰ	1	15	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、呼吸・循環を整える技術の習得を支援する。
		診療に伴う援助技術Ⅱ	1	20	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、診療に伴う援助技術としての与薬時等の看護技術の習得を支援する。
		看護の探究	1	30	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、看護研究の意義と必要性を教授し、看護研究を実践するための基盤を身につけることを支援する。
			12	300		
	臨地実習	看護を知る実習	1	30	○	臨地において、実務者である実習指導者とともに看護場面の見学や体験をととして「看護」とは何か、を考えられるように支援する。
		基礎看護学実習Ⅰ	1	45	○	臨地において、実務者である実習指導者や専任教員とともに患者の思いや生活、対象にあった援助について考え、実践できるよう支援する。
		基礎看護学実習Ⅱ	2	90	○	臨地において、実務者である実習指導者や専任教員とともに看護を実践し、患者の状況（変化）に合わせて必要な看護を考え、実践できるよう支援する。
			4	165		
			16	465		実務経験のある教員による科目は16単位 465時間

実務経験のある教員による科目の配置状況

第二看護学科

分野	教育 内容	科目	単位	時間 数	実務 経験	事業内容 (どのような経験を持ち、どのような授業を行うのか)
		基本技術Ⅰ	1	30	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、患者の身体状況を把握できる基本知識とフィジカルアセスメントの技術を身につけ、健康状態の評価とマネジメントできる能力を習得する。
		基本技術Ⅱ	1	30	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、対象のねがいにそった看護を科学的根拠に基づいて実践するための基礎を支援する。
		生活援助技術Ⅰ	1	30	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、安全・安楽な環境を整え日常生活を支える環境づくりと活動・休息を援助する看護技術を習得する。
		生活援助技術Ⅱ	1	30	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、安全・安楽な環境を整え日常生活を支える清潔・衣生活を援助する看護技術を習得する。
		生活援助技術Ⅲ	1	20	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、安全・安楽な環境を整え日常生活を支える食事・排泄を援助する看護技術を習得する。
		臨床看護総論	1	30	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、健康障害のある患者の理解や状態や状況に応じた処置・検査時の看護について支援する。
			6	170		
	臨 地 実 習	基礎看護学実習	2	90	○	看護師である専任教員がその経験を活かし、健康障害のある患者の理解や状態や状況に応じた看護について支援する。
			2	90		
			8	260		実務経験のある教員による科目は8単位 260時間